

## 川越町子育て支援センター

スタッフの声かけで  
パパもママも参加しやすく！

### 1 保護者が集う取組

- パパママワークショップ(年3回)  
\*子育て中の保護者が集うワークショップ
- 赤ちゃんが来た！(4回連続講座)  
\*生後2~5カ月の子を持つ初産のママに特化したワークショップ
- パパも参加のイベントなど年間を通して親も子どもも楽しむ空間を作っています



### 2 ワークショップの様子(参加者10名)

川越町では、NPOが子育て支援活動の一翼を担い、保護者の状況やニーズに合った内容を取り入れながら取組をすすめている。スタッフ間でも声を掛け合い、音楽を通し親子で楽しみつなげる活動も行っている。

#### 【運営の様子】

目的…子育て支援センターに通っているママたちとの語らい

スタッフ…全体進行役(NPO職員)、グループ進行役(民生委員、絵本専門士)  
託児ボランティア有

#### 活動の流れ(90分)

##### ① アイスブレイク

- ・グループ分け…名前の50音順で並び、2グループに分かれる
- ・子育てカルタ…グループ内の緊張をほぐす
- ・ポストイット一枚にひとつずつ悩みを記入。 \*記入後、フリースドリンクタイム

##### ② グループワーク

- ・自己紹介後、ポストイットをもとに語り合い。模造紙に貼っていく。
- ・20分後、グループのメンバー半分を交換。新グループで再度、自己紹介から始まる
- ・20分後、元のグループにもどり意見交換

#### 【参加者の感想】

- ・同じ悩みを持つ人と話し合いができて共感もてた。力の抜き加減がわかった。
- ・先輩ママの話が聞いて良かった。自分と子どもと引きこもりになりそうだったが、誘ってもらえてよかった。
- ・スタッフが積極的にワークショップへ誘ってくれるので、とても参加しやすいです。

### 3 スタッフの感想(振り返りや今後に向けて)

○保護者の相談に対応できるよう、その保護者に寄り添い支えるためのスキルを上げていく必要がある。

○「赤ちゃんが来た！」では、涙を流しながら子育ての不安や心配を語り合っている。初産のママの心の拠り所となっており、この時期の親の居場所づくりは非常に重要であると考えている。

○スタッフから積極的に参加を呼びかけ、保護者とのつながりも作っている。